

シラバス情報

1 ページ

科目情報

科目名称	増進型の地域づくりから学ぶ（地域実践演習）	配当年次	1	授業コード	A220230006		
開講年度	2017	単位数	2.0	開講時期	後期授業	科目分類	教養科目

代表教員情報

(カナ) 教員氏名	(オノタツヤ) 小野 達也
--------------	------------------

担当教員情報

小野 達也

時間割情報

火曜2コマ	B3-313		

メールアドレス等連絡先

ono@sw.osakafu-u.ac.jp

オフィスアワー

水曜日、12時15分～12時50分。

授業目標

本科目では、まちづくりや地域起こし、地域再生という現代的な課題について、基本的な枠組みや実践の動向に関する基礎的な知識、堺市の具体的な現状の把握、取り組みの進め方の理解ということを演習を通して身につけることを目標とします。具体的には以下の項目について身につけることを達成目標とします。

1. 地域づくりの考え方について理解し、説明できること。
2. 具体的な取り組みに関して、その特長を分析できること。
3. 地域づくりのアイデアを出し、その実現に向けての基礎的な道筋を示すことができること。

地域に出て、地域から学ぶことを目指します。大学の中にいるだけではできない学びを得ます。体験型の授業であるので、積極的な態度での参加を望みます。

教科書

なし。

参考書

適宜指示する。

関連科目

なし。

授業時間外の学習

予習として、地域づくりについての情報を集めるなど事前に出された課題を行うこと。復習として、各回の振り返りを行い、自分の意見をまとめること。
授業時間以外に地域でのフィールドワークを行うことがある。

授業概要

本演習は、まちに出てみよう、人に会って話を聞いてみよう、動いて考えてみよう、ということを軸にしています。大学の中だけでは経験できないことを、大学の外に出て、地域から学んでみましょう。また、単に学ぶだけにとどまらず、ひとつのことでもよいので、社会実験的な試み(実践)をやってみることも視野に入れていきます。具体的な地域としては、受講生と相談しながら決めたいと考えています。白鷺団地、地元の住民による地域活動の実践、泉北地域のまちづくりなどを考えています。できれば、単なる見学に終わらずに、何かテーマをもってアクションをして、地域の人との交流ができればよいと考えています。たとえ半期という時間でも、大学生という立場でも何かできることが見つかるはずです。できることを、できるかたちで行うことで、これまでにない広がりを体験することができます。基本的には外に出て、体を動かし、人に会いながら考える演習だと理解してください。シラバスの枠組みは以下の通り。授業の進度は、状況により変化することがあります。開講時間を設定していますが、外に出ることもあるため必要に応じて時間を調整しながら進めます。

成績評価

出席、受講態度、発表等により総合的に評価する。
授業目標1～3の達成度に応じて成績評価を行う。それぞれの項目について、最低限度の説明ができることが単位取得の基準となる。

備考

「地域実践演習」の履修には、学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険に加入することを条件とします。学生課学生サポートグループにおいて手続きしてください。

URLリンク

URLリンク 1

URLリンク 2

URLリンク 3

授 業 計 画

1. ガイダンス。演習の目指すもの、進め方の説明 受講生の関心や受講条件の確認
2. 増進型のまちづくりについての説明
3. フィールドワークの進め方の体験
4. 増進型まちづくりワークショップ体験
5. 増進型まちづくりについての発表①
6. 増進型まちづくりについての発表②
7. フィールドワーク準備
8. フィールドワーク
9. フィールドワークのふり返し
10. 地域の方々からのお話し
11. 増進型まちづくりのアイデアワークショップ
12. アイデアの具体化
13. プレゼンテーションの準備
14. プレゼンテーション
15. 全体の振り返り、まとめ